

## 国立大学法人小樽商科大学と東日本電信電話株式会社との 「北海道の産業振興及び経済の発展の寄与に向けた連携協定」の締結について ～活力ある未来の北海道共創の実現に向けて～

国立大学法人小樽商科大学（学長：穴沢 眞、以下「小樽商科大学」）と東日本電信電話株式会社北海道事業部（北海道事業部長：阿部 隆、以下「NTT東日本」）は、本日「北海道の産業振興及び経済の発展の寄与」に向けた連携協定を締結しました。

### 1. 協定締結の背景

小樽商科大学は、「実学・語学・品格」を教育のモットーとし、学生が受け身ではなく主体的に参加する学修を他大学に先駆けて進めてきました。あわせて地域課題に応えるため、産学官との連携による研究機能の強化も進めています。

NTT東日本は、光サービスを中心とするネットワークサービスの提供に加えて、AIやIoTを活用した地域課題の解決に取り組むとともに、地方創生や新たな価値の創造など新たな領域に取り組んでいます。

小樽商科大学が有する研究基盤・企業経営ナレッジとNTT東日本の情報通信技術・地方創生活動の融合により、学術分野と地域産業振興の両面での新規ビジネスを創出し、活力ある未来の北海道共創の実現のため、連携協定を締結しました。

### 2. 協定の内容

- (1) 北海道経済活性化に向けた共同研究に関する事項
- (2) 研究基盤の高度化に関する事項
- (3) 研究成果の社会実装に向けた企業間連携の推進に関する事項
- (4) グローカル人材育成及び人材交流に関する事項
- (5) その他、本協定の目的を達成するために必要な事項

### 3. 今後の展開

本協定の締結により、北海道の経済活性化、研究基盤の研究・教育を推進し、産学連携による新規ビジネスの創出等を通じて、地域産業の振興と北海道の発展に貢献してまいります。



【穴沢学長（左）と阿部北海道事業部長（右）】